



“見えづらい難病”を楽曲・ドラマで可視化。過去施策比でリーチ数4倍、エンゲージメント件数30倍を達成した、アーティスト・ユーザー参加型制作プロジェクト

中外製薬株式会社 / 「Rising Awareness of NMOSD with yama」

#楽曲コラボ

#ショート動画制作

#クリエイタータイアップ

#エンゲージメント向上



https://www.onemedia.jp/works/chugai_nmospd_yama

CHALLENGE

指定難病「NMOSD*1」を当事者の方以外にも知ってもらえる機会を提供することを目指し、「yama」と共に疾患啓発プロジェクトを発足。

コンテンツを通し“難病”の当事者/当事者以外の壁を超え、共感と会話を生むことに挑戦しました。

*1：視神経脊髄炎スペクトラム障害は、指定難病の視神経脊髄炎と同義

RESULT

- ・総再生数：2,433万回以上
- ・リーチ数：過去施策比の4倍
- ・エンゲージメント：過去施策比の30倍

視聴者がコメント欄で【自身のエピソードを次々とシェアしていく現象】が生まれ、視聴者同士のコメント返信による会話も見られました。

SOLUTION

「yama」さんやTikTokクリエイターとコラボレーションし、見えづらい“難病”を可視化。音楽とストーリーで、共感しやすい土壌をつくる



“覆面アーティスト”として活躍する「yama」さんにプロジェクトへ参画していただき、誰にも共通する悩みである「コミュニケーションにおける葛藤」をテーマにした楽曲『パレットは透明』を描き下ろしていただきました。

「yama」さんには単なる楽曲タイアップに留まらず、プロジェクトの共同発足人という役割を担っていただき、LIVE中でのファンへの呼びかけや、SNSで募集したユーザーや患者さんの声を反映したクリエイティブ作り、制作過程の発信、ミュージックビデオ出演、事後インタビューなど、プロセス全体を通してコミットメントしていただきました。

また、「yama」さんの楽曲を音源として、患者さん10人のストーリーを描いたショートドラマを、TikTokクリエイターと10本制作。患者さんの“難病”を描くのではなく、視聴者との共通項である「コミュニケーションにおける葛藤」を中心に描くことで前向きな発話が発生し、“コミュニケーションを乗り越える存在”として患者さんを描くことに成功しました。

TikTok Studio

by ONE MEDIA



本施策担当ビジネスプロデューサー
佐々木 貴大

私たちと初めてのTikTok プロモーションに
チャレンジした企業・ブランドのうち、
70%超がお取り組みを継続いただいております。
お気軽にご相談ください。

お問い合わせはこちらから

ワンメディア株式会社

お問い合わせ先：<https://www.onemedia.jp/contact>

EMAIL : biz@onemedia.jp

